

一般財団法人 滋賀県民間社会福祉事業職員共済会
地域共生型社会推進事業助成金

事業完了報告書（公開用）

1、概要

報告日	西暦 2019 年 4 月 11 日
報告者	梶田香織
助成団体名 (所属団体名)	特定非営利活動法人 元気な仲間
団体住所	〒 520-1501 滋賀 都道府県 高島市新旭町旭 1-8-5 エスパ内
団体電話番号	0740 — 25 — 5703
代表者 (助成対象者)	代表理事 谷 仙一郎
助成対象事業	住民参加型生活支援サービス「たすけあい高島」会員情報のデータベースシステムの構築事業
事業（助成）期間	2016 年 4 月 1 日 ～ 2019 年 3 月 31 日
事業費総額	1,010,452 円
助成金総額	1,000,000 円

※住所・電話番号等は団体のものを記載し、個人情報に関わることは記載しないでください。

次ページ以降に「事業内容」、「事業成果」、「今後の課題など」を簡潔に記載してください。

注意事項

- ①共済会ホームページに掲載しますので**個人情報の掲載は禁止**します。
- ②「事業内容」、「事業成果」、「今後の課題など」は**合計5ページ以内**で作成してください。
- ③**写真の掲載は原則禁止**しますが、どうしても必要な場合は**最小限度**に留めてください。
- ④写真を掲載される場合は必ず**撮影対象の方に事前に了承を頂く**ようお願いします。
- ⑤必ず Word ファイルのまま shigakyo@cello.ocn.ne.jp へメールにてお送りください。

2、事業内容

住民参加型生活支援サービス「たすけあい高島」は、高島市の地域住民自らが生活の中の困りごとを相互扶助によって助け合う事を目的に、2010年に会員制の組織として取り組みが始まりました。

たすけあい活動は、1時間当たり800円以後30分ごとに400円の単価で、登録された会員の依頼情報をもとに、事務局コーディネーターが提供者と依頼者のニーズを把握し、在宅高齢者が抱える暮らしの中の課題（掃除・買物・調理・通院つきそい等）に取り組んでいます。

28年4月末の助成開始時点で「たすけあい高島」会員数は、よろしく会員（依頼会員）243名、まかせて会員（提供会員）215名、27年度は年間2087件の活動があり、介護支援専門員や地域包括支援センター職員等の専門職からも多数の相談や依頼が寄せられるため、大量の情報の把握や共有が困難な状況になってきていました。

登録されている会員の情報は、入会時に記入された会員情報（住所・年齢他）、活動の依頼内容、活動伝票などがすべて別々のファイルに保管されており、面談でしか対応できないような高齢者の訪問相談時等に会員情報や活動履歴の確認が出来ない事や、専門職からの依頼時にも介護状況の変化等の情報の共有が課題となっていました。

バラバラの会員情報をデータベース化し、出先でもパソコンやタブレットを用いて本部データベースにもアクセスし対応できる環境を構築することで、今後の生活支援サービスのニーズの多様化にも対応できる様になればと考えていました。

今回、平成28年度地域共生型社会推進事業の助成を頂き、会員情報・活動情報を一元管理できる専門ソフトをタブレットに導入し、様々な情報を管理できるようになりました。

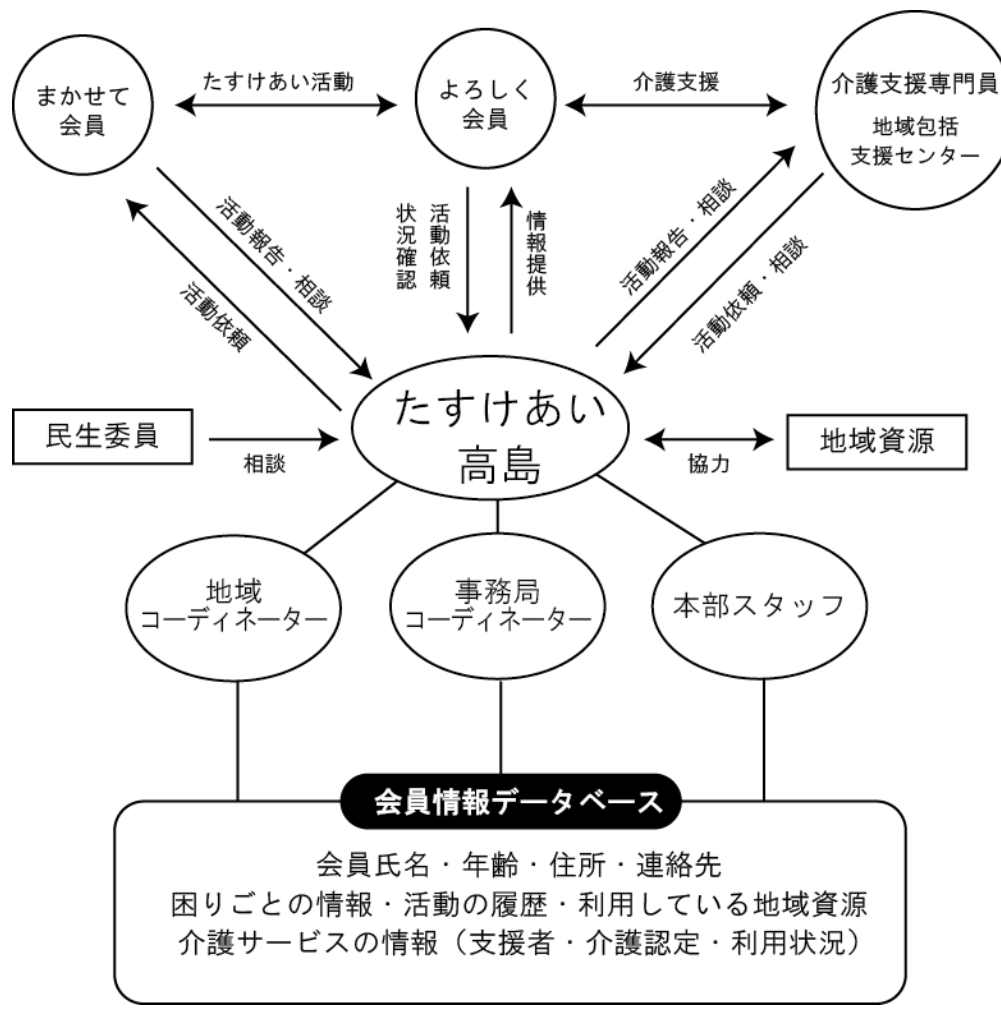
3、事業成果

専用ソフトにすべての会員情報と本年度の活動記録を入力し、会員データベースの構築を完了しました。活動依頼があった時に「〇〇地区で〇〇の資格や経験の豊富な方」等、すばやく条件に合った会員の方を検索し、活動のコーディネートがスムーズに行えるようになりました。

有償ボランティアをつなぐ通常のコーディネート活動に加え、平成 29 年度より総合事業などの参加協力等もご依頼が増加しており、行政・関係機関との連携も多く管理する情報量も膨大になってきました。

30 年度末での会員数は、よろしく会員 386 人、まかせて会員 253 人、両方会員 37 人、合計 676 人となり、年間活動数は 2093 件。総合事業の活動件（A サービス 673 件、B サービス 267 件）を加えると 3033 件となりました。

特に総合事業 B サービスの利用は今期急増したため、ケアマネージャーから提供される介護情報やフェイスシートなどの資料も加わることとなり、さらに複雑化してきました。今後は、一元化された情報を適時更新しながら、地域支援と協力していきながら円滑な管理運営を行っていききたいと思います。



4、今後の課題など

たすけあい活動のニーズが増加していることで、対応のために事務局のスタッフも増員しています。

依頼に対応するスタッフが、全ての活動のケースについて把握できているわけではありません。

そのため、初めての対応の場合は依頼状況がわかりにくく、会話がしづらい高齢の方に色々と同じことを毎回お尋ねしなければいけないことが多くなってきました。

構築されたデータベースに、今後は基本の会員情報に加えて、活動の相談経過や依頼のマッチングまでの状況など、たすけあい活動の経過についても

データにアクセスすることで把握できるように、こらからも検討を重ねていきます。

また、高島市は活動する地域も広く、今後は旧町（高島・朽木・安曇川・新旭・今津・マキノの6地区）のエリアごとに、地域に精通したコーディネート活動ができる地域コーディネーターの配置を進めていきたいと考えておりますので、事務局との情報の連携の仕組みも安全なネットワーク環境が作れるように、取り組んで行かなければならないと思います。